

令和元年度 第3回 川口市介護保険運営協議会議事録

1 開催日時

令和2年1月30日（木） 午後2時から午後3時5分

2 開催場所

市役所 議会棟2階 第1委員会室

3 出席者（委員総数14名、出席委員12名）

【出席委員】吉田委員、石川委員、杉浦委員、渡辺委員、小寺委員、畑中委員、山本委員、梅田委員、高木委員、櫻井委員、長谷部委員、山田委員

【事務局並びに関係職員】

福祉部長、介護保険課長、長寿支援課長

【事務局補助】

介護保険課職員、長寿支援課職員

4 議事及び次第

・開 会

・会長挨拶

・議 題

審議事項

（1）第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための部会設置について

報告事項

（1）生活支援体制整備事業に係る電子システムの導入について

（2）第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る調査の中間報告について

その他

・副会長挨拶

・閉 会

5 議事録署名人 梅田委員、長谷部委員

6 傍聴人の数 1人

7 会議の概要

会長挨拶の後、事務局により本日の委員出席者数について報告が行われ、条例に基づき会長が議長となり議事が進行された。

会長の指名により、今回の議事録署名人は、梅田委員、長谷部委員となった。

事務局による各議事の説明の後、次の質疑応答がなされた。

【質疑応答の概要】

「審議事項」

(1) 第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための部会設置について

資料1に基づき、事務局より説明が行われた。

議長　それでは、審議事項の(1)「第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための部会設置について」は、以上でよろしいか。

各委員　異議なし。

「報告事項」

(1) 生活支援体制整備事業に係る電子システムの導入について

資料2に基づき、事務局より説明が行われた。

委員　個人情報の管理はしっかり出来るのか。

事務局　セキュリティ管理がしっかり出来るシステムであり、関係者限定ページで管理していくことになる。なお、一般公開用ホームページについては、本人から同意を得た情報のみ公開する形で進めていく。

委員　地域資源を更新していく人はどういう人で、どのような流れで行うのか。

事務局　更新については、現在も毎年、各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターにより資源の調査を行っているため、普段の活動の中から把握したものを随時更新する形を想定している。

委員　各生活支援コーディネーターが調べたものを市を通さずに各地域包括支援センターが直接更新していくのか。

事務局　詳細はこれから詰めていくが、IDを各地域包括支援センターに割り振って、直接入力できるようにするのが効率的であると考えている。

委員　高齢者にとって電子システムは難しい。なるべく簡単なシステムを希望する。

事務局 他市への視察を行った結果、本人だけでなく家族のかたが検索することも多いようであり、遠方の家族も検索等に利用していると聞く。使い方などは周知を丁寧に行い、皆さんに使っていただけるように進めていきたい。

議長 それでは、報告事項の（１）「生活支援体制整備事業に係る電子システムの導入について」は、以上でよろしいか。

各委員 異議なし。

「報告事項」

（２）第８期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る調査の中間報告について

資料３に基づき、事務局より説明が行われた。

委員 これから結果を分析していくと思うが、どのように計画に落とし込んでいくのかを簡単に教えてほしい。

事務局 計画に関しては同じ業者に委託するかは現段階では決まっていない。調査と計画はそれぞれ単年度契約となっている。委託業者が３月末までに結果をまとめて、傾向を示す予定であり、調査結果としてまとめたものは、ホームページに掲載する。また、４月以降に報告書として委員の皆様へお渡しする予定であり、令和２年度の部会等でそこから見える課題などから計画内容を検討するものである。

委員 実態調査と分析を行う業者が同一のほうが全体が見えるため良いと思う

委員 資料１８ページ、住まいの調査目的は何か。

事務局 住まいについては、持ち家が多ければ、例えばバリアフリー工事などのサービスが必要になるなど、今後どういうサービスが必要かということを検討するひとつの材料として、入れたものである。

委員 予算などを出して、計画に盛り込む予定か。

事務局 すべて計画に入れるかは、これから検討する。今後事業として予算化する際にも参考になると考えている。

委員 資料１９ページ、事業者調査のうち「事業運営を進めていく上で困難を感じる事」では、従事者の確保、利用者の確保、従事者の資質向上の項目に対する回答が多く、資料２０ページの「職員の採用が困難な原因」では、賃

金が低い、仕事がきつい、社会的評価が低いといった項目に対する回答が多くなっているが、市として指導や助成をやっていくということか。

事務局 市としては、人材確保は重要な課題と認識しており、現状を捉えるため基礎調査を実施したものである。なお、平成30年度から介護福祉士の受験手数料助成を行うなど、具体的な取り組みも実施しているところである。

委員 そういった助成は効果がないと思う。20ページの回答にある3Kを払拭する制度を改革していかなくてはと思う。コーディネーターは人間力や資質が問われ、いろんな人を導いていく仕事であるが、現在のコーディネーターは若い人もおり、どこまでできるか心配に思うところもある。コーディネーターは社会福祉士の資格が必要だと聞いているが、地域の高齢者を活用できる制度に持っていけると良いのではないか。国の制度だけでなく、川口市独自の取り組みを検討してもらいたい。

委員 介護事業者におけるシルバー人材センターの活用状況を教えてほしい。

委員 事業者を確認しないと業界としての発言ができないが、昨今の人材不足の中、シルバー人材センターに限らないところでは、高齢者の雇用はかなり前向きになりつつあり、年齢に応じ出来る範囲内で、以前と比べて増えてきていると感じているが、シルバー人材センターにお願い出来る流れが出来ているという感じではない。

委員 アンケートの内容で、体重が減る、食事量が減る項目があるが、私たちも指導や介助はしているが、それでも体重が減るかたがいる。栄養士と連携して栄養サポートチームにつなげていけるような方法も作ってほしい。

委員 川口市認定ヘルパーの資格をとったが、人材の確保が大変な状況の中、講座の受講者が少なかった。認知症は予防が難しいものであることから、企業が30～40代を対象に認知症は誰にでもなりえるものだと認識させる取り組みを行っている。自分が小学校での勤務時は生活科の授業で地域のお年寄りとのふれあいがあった。少子高齢化の中で、小中高校生の時に教育として介護の事を長期的に取り上げていくことが重要であると考え。お年寄りの方から得るものや自分もその立場になることを学ぶ場を人材確保のためにも作っていく必要がある。若い人が仕事を続けるためにも、賃金が上がらないとやっぱり厳しい。介護の仕事は、生きがいを持てるような職業として、川口市として取り組みが必要だと考える。

委員 千葉県松戸市では、医師会が小学校の高学年と中学生を対象に課外授業で、命の尊さや認知症について学ぶ、「まちっこプロジェクト」を行っている。学校指導要領の改訂により、道徳の授業に「生命の尊さ」が位置付けられた。地域包括ケア連絡協議会でも今後教育委員会等へどう働きかけていくか協議

を進めている。

事務局 市も地域包括ケア連絡協議会に出席しており、現状は把握している。子どもの教育の重要性については認識しており、今後検討していきたい。

委員 市内中学校の「きらり川口ゆめワーク」という体験プログラムの中で、中学2年生が3日間希望する場所で就労を体験するという事業がある。訪問看護をやっているが、なぜ介護等の施設に行かないのかと質問すると、施設は臭いから選ばないという。被介護者も一人の人間として尊厳する教育が必要だと思う。

事務局 ゆめワークについては、市内の中学2年生が福祉施設や病院、事業所などの職場を体験するプログラムであることを承知している。

また、川口市介護事業者協議会が行っている介護フェスティバルでは、小中学生にチラシを配って周知している。今後は川口市立高校にも声掛けを行い、介護とはどういうものか概要だけでも理解していただく取り組みを考えていきたい。

委員 介護の教育は非常に重要である。市はイベントなどに来てほしいというスタンスだが、市が学校などに出向いていく出前授業の取り組みを検討してほしい。

委員 行政の力も必要だが企業努力も必要と考えており、特に特別養護老人ホームでは6年前くらいに介護の魅力PR隊を県知事から任命され、小中高大学で2時間出張授業を行っている。その後ボランティア体験もしていただき、そのまま雇用につながることもある。6年くらいやっていると介護施設や事業所の想いを理解し、臭いや汚いといった風評被害は無くなっている。

委員 調理実習を中学校、高校で行っているが、若いエネルギーは素晴らしいので、このエネルギーを介護に向けていただけたら素晴らしい川口市になると思う。

事務局 貴重な意見を前向きにとらえて、学校の現場に伺うといった出前講座などを考えていきたい。

議長 それでは、報告事項の(2)「第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る調査の中間報告について」は、以上でよろしいか。

各委員 異議なし。

「その他」

委 員 新型コロナウイルスについて情報提供

事務局 今後の会議について、今年度は本日が最後の会議となる。令和2年度は詳細が決まり次第ご連絡する。

議 長 令和元年度第3回川口市介護保険運営協議会を終了する。
(会議終了 午後3時5分)